

参加されたお母さん・お父さんからの声

- 子どもを学生に見てもらい、自分だけの時間を持つことが嬉しい！
- 日曜日にやっている支援センターが無いためふれんどまみい日曜の支援センターのような存在になってくれると嬉しい。
- 移住しての子育ては不安がいっぱい・・・子育ての悩みや楽しさを分かち合う場があることはとても助かる。
- 子どもも学生と楽しそうに遊んでいて、来てよかったと感じる

ふれんどまみい
plus
地域まるごと
ハッピー活動
これから♪

2015年から始まった育児支援サークルふれんどまみいは、地域の方からの要望もあり活動場所、内容が拡大してきました。今後は子育て支援のみならず、子育ては地域で協力するという“地域まるごと＝包括”した考えで、若者から高齢者まで多世代間のつながり、ゆいまーの構築の橋渡しを目的とし活動を目指していきます♪

育児支援サークル

ふれんどまみい♪

地域みんなで

子どもを育てる



育児支援活動の意義として地域交流や子育ての悩み・不安を共有し、子育てから一息休憩できる癒しの時間と場の提供、学生のコミュニケーション能力の向上、支援について考えることができる

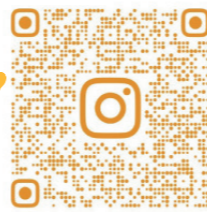
01 ふれんどまみいとは？



名桜大学看護学科育児支援応援サークル、ふれんどまみいplus 地域まるごとハッピー活動は妊婦から育児期にあるお母さん・お父さんに対する育児支援を行う団体です。活動に参加してくださるお母さん・お父さん方とのコミュニケーションを通して、気持ちを分かち合う情緒的サポートの役割を担っています。また、子どもの成長発育を観察する知識やお母さん・お父さんとのゆんたくを通して、コミュニケーション技術の向上を図り、学生たちが援助・支援方法を習得できる場にする事を目的としています。



Instagram
フォローお願いします



@FRIEND_MOMMY

02 こんな活動をしています。



お母さん・お父さん・子どもたちと一緒に、遊び道具や季節にちなんだ飾り物などの作成や、家族の思い出作りとして記念撮影会の開催、フォトブックの作成を行っています。制作活動は、お母さん・お父さんには子どもと一緒に作成してもらうこともあるのですが、サークルの思いとしては「自分時間」を大切にしてもらいたく、子どものお世話を学生が担っています。「育児から離れてホッとするひと時」「家族と一緒に楽しく作る創作活動」という空間づくりを大切に活動を行っています。



03 活動場所や日時は?



活動の拠点としては、大西公民館を利用させて頂いています。また、地域の方からお声かけ頂いた際には積極的に活動を行っています。



04 この1年は、みんなとやりました!!



今年度（2023年度）は活動の幅も広がり、名護市の児童センターさんや伊是名村の健康フェアからのお声かけを頂き活動拡大しています！

名護市児童センターでの活動

児童センターで活動をさせて頂いているときは、事前に参加者さん家族の募集を限定させて頂いて行っています。小学生などの大きい年齢性の子どもたちよりも、0歳児などの乳幼児期の子どもたちの参加が多い傾向にあります。当初予定していた参加者さんの数よりも多くの方にご参加頂きました。参加している学生一人に対して3、4人の子どもたちを一度に子守するなど、一時は学生側も大変そうに見えたりもしましたが、子どもたちとの交流の時間を通して充実した時間が流れてもいました。お母さん・お父さん方には、クリスマスリースの作成を行って頂きました。お母さんたちの作りたいリースを作ってもらったり、子どもと一緒に作成して子ども好みのリースを作成したりするご家族もいらっしゃいました。作成後には、思い出としてチェキを用いて写真撮影なども行いました。



大西公民館での活動

活動によく参加して下さるご家族に加え、初めて参加されるご家族もおられました。学生の参加には男子学生もいるので、たくさん体を動かして遊びたい子たちは男子学生と楽しそうに遊んでいる様子も見られ、にぎやかな時間が流れていました。

作成したものはUVレジンで作るキーホルダーや飾りでした。お母さん・お父さん方だけでなく子どもたちの中にも興味を示してくれる子たちがいました。同じホールの中でも子どもたちの好みに合わせて遊びたいこと、やりたいことができる環境づくりができていたのかなと感じられました。



伊是名島健康フェアでの活動

「海でつながる島とふれんどまみい♪島まるごとハッピー活動」in 伊是名

11月23日は伊是名島で毎年開催される健康フェアに参加しました。たくさんの地域の方が参加しており、ふれんどまみいのブースには保育園児や親子にレジンキーホルダー作りを行いました！

島では自然に触れながらのびのびと子育てができるなどのお母さん・お父さんのお話しも聞くことができました。

